



問合せ先

警備救難部国際刑事課海賊対策室
課長補佐 三浦 淳

TEL 03-3581-1701

第一管区海上保安本部総務部
広報・地域連携室長 両角 孝志

TEL 0134-27-0118(内 2111)

平成 30 年 6 月 2 0 日

海 上 保 安 庁

海賊対策のため巡視船を派遣します

～法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の強化を目指して！！～

海上保安庁では、東南アジア海域における海賊対策のため今月26日から約1ヶ月間、巡視船「つがる」をフィリピン共和国、インドネシア共和国に派遣します。

派遣中は公海上でのしゅう戒を実施するほか、寄港地等での関係機関との連携訓練を通じて海上法執行能力の向上及び各国との連携、協力関係の強化を図ることとしており、更には、これらの取組みにより、インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の強化に向け寄与していくこととしています。

海賊をはじめ海の安全を脅かす脅威に対して、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序は、地域の平和、安定及び繁栄の礎です。海上保安庁では、東南アジア諸国等の海上法執行能力向上支援の観点から、インド太平洋海域の結節点の東南アジア海域等における海賊対策として、平成12年から同海域に巡視船を派遣しています。今回の派遣の概要等は次のとおりです。

1 派遣巡視船

函館海上保安部所属

巡視船つがる

(総トン数約3,100トン、ヘリコプター1機搭載)



2 派遣国及び連携訓練等概要

(1) フィリピン(寄港せず、沖合において連携訓練を実施)

近年、スルー海・セレベス海において船員の誘拐を目的とした海賊等事案(※1)が発生していることを踏まえ、セレベス海公海上において、しゅう戒の実施に加え、フィリピン沿岸警備隊(PCG)の巡視船と会合し連携訓練を実施予定。同訓練には、日本が PCG に供与した40m級巡視船2隻及びアジア海賊対策地域協力協定(ReCAAP)情報共有センター(※2)が参加予定。

(2) インドネシア

- ① インドネシア海上保安機構(BAKAMLA)、インドネシア国家捜索救助庁(BASARNAS)、海運総局警備救難局(KPLP)、海上航空警察(IMAP)のインドネシア海上保安機関4機関との初の連携訓練を実施予定。
- ② また、昨年10月に発足した海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)による初の研修を実施予定。併せて海上保安協会による研修も実施予定。
- ③ なお、今回の寄港は、日尼国交樹立60周年記念行事の一環であり、インドネシア関係当局や在尼邦人を対象とした船内見学会も実施予定。



3 派遣日程

- 平成30年6月26日(火) 函館港出港/出港式典
7月 4日(水) フィリピン沿岸警備隊との連携訓練
(ミンダナオ島南方のセレベス海公海上)
9日(月) インドネシア・ジャカルタ入港
11日(水) インドネシア海上保安機構等との連携訓練
(ジャカルタ港沖)
12日(木) MCT 及び海上保安協会による研修
13日(金) インドネシア・ジャカルタ出港
25日(水) 函館港入港/入港式典

4 取材について

巡視船つがるの出港式を以下のとおり実施します。

日 時 : 平成30年6月26日(火)午後1時30分から午後2時まで

場 所 : 函館港万代埠頭北1号岸壁(巡視船つがる係留岸壁)
(雨天時:函館港湾合同庁舎 5階共用大会議室)

住 所 : 北海道函館市万代町19-6
(雨天時:北海道函館市海岸町24-4)

備 考 : 船内における取材はできません。

出港式の取材を希望される社は、6月21日(木)午後5時までに、海上保安庁広報室(Tel03-3591-9780)まで連絡をお願いします。また、出港式については、6月26日(火)午後1時20分までに、函館港万代埠頭北1号岸壁(雨天時:函館港湾合同庁舎5階共用大会議室)にお集まり下さい。

インドネシア海上保安機構等との連携訓練を含む取材を希望される社は、6月29日(金)午後1時までに国際刑事課海賊対策室(Tel03-3581-1701)まで連絡をお願いします。

※1 近年のスルー海・セレベス海の状況

平成28年3月以降、フィリピン沖のスルー海・セレベス海では、身代金目的の船員誘拐といった重大な事案が発生している。現在、フィリピン国政府では、安全推奨航路の設定、監視レーダーを設置する等監視・警戒を強めている。

同海域における海賊等発生件数：平成28年16件、平成29年7件、平成30年1件。

(H30. 6. 20現在)

※2 アジア海賊対策地域協力協定(ReCAAP)情報共有センター(ISC)

ReCAAP-ISC は、海賊・海上武装強盗対策のための地域協力を促進する国際機関。2006年に発効した ReCAAP に基づきシンガポールに設置され、海賊等の情報共有等を実施。

日本からは歴代事務局長及び事務局長補(海上保安庁出向者)が派遣されている。

※ご参考

昨年度の巡視船派遣時における連携訓練の状況写真

	
フィリピンにおける高速航行訓練 (日本国供与の巡視船2隻が参加)	フィリピンにおけるゴムボート操船訓練 (操船指導の状況)
	
マレーシアにおける海賊対処訓練 (MMEA 職員による海賊制圧の状況)	マレーシアにおける海賊対処訓練 (「つがる」及び MMEA ヘリコプター)